

受 験 番 号					

氏 名	

2018 (平成30) 年度  
放送大学大学院博士後期課程  
文化科学研究科 文化科学専攻

**社会経営科学プログラム**

筆記試験問題 (小論文試験)

試験日：2017 (平成29) 年10月7日 (土)  
試験時間：13時00分～ 15時00分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この試験問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、「試験問題冊子1冊」「解答用紙3枚」及び「下書き用紙3枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、試験問題冊子を確認してください。試験問題冊子は、表紙、白紙、問題(1頁)の順に綴じられています。試験問題冊子をとじているホッチキス針をはずしたり、中身を破って取ったりしてはいけません。試験問題冊子または解答用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合は、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 試験問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号及び解答用紙の何枚目であるかを、解答用紙別に必ず記入してください。
7. 解答用紙1枚につき、1,000字まで記入することができます。解答用紙3枚のうち、社会経営科学プログラムは3枚以内で解答してください。指定された字数を超えないよう、注意して解答してください。
8. 試験問題冊子、解答用紙を持ち帰ってはいけません。
9. 試験問題冊子は試験終了後に回収します。試験問題冊子に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
10. 試験時間は2時間です。試験開始から40分を経過した後は、試験問題冊子及び解答用紙を試験監督員に提出した上で退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

社会経営科学プログラム  
筆記試験問題（小論文試験）

問1あるいは問2のいずれかを選択して、3000字以内で解答しなさい。

問1

自らの修士論文（あるいは修士論文に相当する自分の論文）の「テーマ内容」を簡潔にまとめ、今回計画している博士論文の目指す方向性との関係について、それぞれ重要と考える論点に分けて論じなさい。またその際、上記の論文を書くときに参考とした枢要な文献の書名、論者を挙げながら、説明しなさい。

問2

自らの計画している博士論文の「方法論」の追究過程で影響を受けたと考えられる先行研究について、方法上の基軸となる論点を示しながら説明しなさい。その際、先行研究の具体的な名称をあげて解説し、その研究方法の適用から期待される成果の可能性について述べなさい。

以上